

STEAM教育の実現 「子ども大学だざいふ・ふくおか」開校

楠田市長も名誉学長を務める第5回「子ども大学だざいふ・ふくおか」が、九州大学筑紫キャンパスで11月27日(日)に開校されました。

子どもの素朴な疑問に答えるために、俳優の紺野美沙子さんをはじめ各分野の専門家が事例や体験を交えながらアクティブ・ラーニング方式の授業を行い、子どもたちの好奇心あふれる生き生きとした姿が見られました。



名誉学長としてあいさつする楠田市長

史跡地の先進的多用途活用 客館跡でフードトラックと移動図書館すくすく号合同出店

史跡地を先進的多用途活用することで魅力を高め経済税収効果を高めるため、飲食物を移動販売するフードトラックと移動図書館すくすく号を11月20日(日)、合同で出店しました。

利用者からは、「史跡地を有効利用していて良かった」「本やフードがあるので子どもを連れて来れた」と喜びの声がありました。

この取り組みは史跡地活用の実証実験でもあり、データを検証して今後の市政運営に役立てていきます。



フードトラックとすくすく号の利用者

まちのトピックス

史跡地の先進的多用途活用 日本遺産「西の都」ふれあいウォーク開催

爽やかな秋晴れのなか、史跡地の先進的多用途活用の一環でもある一般社団法人太宰府観光協会主催『日本遺産「西の都」ふれあいウォーク』が10月29日(土)に開催されました。

本市が誇る日本遺産「西の都」構成文化財やストーリーをより多くの人に知ってもらうとともに、市内観光の回遊性向上を図るため、大宰府史跡解説員による史跡解説などを交えながら現地を歩いて巡るものです。

約2,000人の参加者が令和発祥の地大宰府政庁跡に集まり、秋の景色と歴史、文化を感じながらウォーキングを楽しみました。ゴール地点では、イベントのために制作された梅入りの特製お餅「旅人の梅」が振る舞われました。



スタート地点から歩きはじめる参加者

市民の活躍 筑紫地区少年愛護連盟表彰

筑紫地区少年愛護連盟表彰式が11月17日(木)に春日市ふれあい文化センターで開催されました。本市からは次の人が表彰されました

緊急時の救助	
東谷 紡 (筑陽学園中学校1年)	
人命救助・負傷者の介助	
有尾 彩良 (福岡農業高等学校2年)	
岡田 彩花 (福岡農業高等学校2年)	



表彰式の出席者

市内事業者の活躍 おもてなしクリーンアップ作戦実施

市内事業所で構成する太宰府市産業推進保有会などが協力して、大宰府政庁跡南側水路の清掃と五条交差点までの県道植樹帯の除草作業を11月26日(土)、行いました。

50人程の参加者は、気持ちよく太宰府を訪れてもらいたいというおもてなしの思いをもって、作業に取り組んでいました。



水路の清掃をする参加者